



豪華絢爛な時代行列が10万人を魅了する！

～ 『第28回照姫まつり』開催（事前のお知らせ）～

と き	5月17日(日)午前10時～午後3時30分(小雨決行)	交通機関:西武池袋線 石神井公園駅南口徒歩10分 (会場周辺で交通規制が行われるため、車での来場はできません。)
と ころ	都立石神井公園(石神井台1-26-1)とその周辺	

17日、都立石神井公園とその周辺で、第28回照姫まつりが開催される。このまつりは、練馬の春の祭典として長く親しまれているもので、最大の見どころは、華やかで美しい時代衣装を身にまとった照姫を中心に、勇ましい鎧姿の武者などで構成された約100人の照姫行列。公園周辺の約2kmをおよそ3時間かけて練り歩く。

行列の主演である、照姫・豊島 泰経(としま やすつね)・奥方の三役は区民から一般公募し、オーディションで選ばれた。

今年は、区の友好都市で、来年の大河ドラマ「真田丸」の舞台である長野県上田市から、真田の甲冑隊や陣太鼓も参加する。

公園内には地方の物産販売など約80店の模擬店が立ち並び、例年10万人以上の人出で、大きな盛り上がりを見せる。

【照姫まつり】

照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経(としま やすつね)公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌(おおた どうかん)に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。

照姫まつりは、この悲劇のヒロイン照姫をしのいで行われる時代まつり。昭和63年から始まり、今年で28回目。主催:照姫まつり推進協議会(照姫まつり実行委員会、練馬区観光協会、練馬区)



昨年の照姫まつりの様子

【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者にふんした約100人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオ - !」という勇ましい関(とき)の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。

行列の主演となる三役は区民から一般公募し、2月のオーディションで選ばれた。第28代照姫役を高校生の戸田 鮎菜(とだ あゆな)さん、豊島泰経公役を上田 大介(うえだ だいすけ)さん、奥方役を森 恵美(もり えみ)さんがそれぞれ演じる。また、行列を彩る三役以外の姫や武者も公募で選ばれた。

【信州上田市の協力！迫力のパフォーマンス！魅力的な品ぞろえの模擬店！】

今年は区の友好都市で、来年の大河ドラマ「真田丸」の舞台である長野県上田市から、真田の甲冑隊が照姫行列に参加。石神井公園駅南口広場の特設ステージでは信州上田真田陣太鼓保存会がまつりを盛り上げる。また、上田市の特産、名産品の販売も行われる。

その他にも、会場内の3つのステージで大道芸パフォーマンスやお囃子、ダンスなどが披露され、さらに、会場内の約80店の模擬店では、定番の焼きそばやフランクフルトのほか、練馬の名品や地方物産品が販売される。

【問い合わせ】産業経済部 商工観光課 まつり係 電話 03-5984-2389